



2021-22 年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ

Weekly Report Niigata



2021~22 年度
新潟ロータリークラブ会長

石橋 正利



新潟 RC 4 月第 1 例会 (2022.4.5) (Zoom 例会併催) No.3408

(1) 「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」ピアノ演奏

(2) 石橋 正利会長挨拶

4月は、「母子の健康月間」です。母子の健康の現状を見てみると、毎年、5歳未満で命を落とす子どもたちは、なんと世界で推定590万人もいるそうです。その原因は、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりです。

予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことなどあってはならないと、私たちロータリアンは考えます。すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと成長できるように、私たちは支援活動を行っています。

ロータリー財団の『母子の健康』基本方針は以下の通りです。

ロータリー財団は、ロータリアンが以下のような活動によって母子の健康を改善するのを支援します。

1. 新生児や赤ちゃんの死亡率の削減。
2. 5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減。
3. 妊婦の死亡率と罹患率の削減。
4. 基本的な医療サービス研修を受けた地域社会の医療従事者へのアクセスの改善。
5. 母子の健康に関連した仕事を目指す専門職業人のための大学院レベルの奨学金支援。

では、ハイチの僻地で妊婦のための保健医療を支援するロータリー財団の活動を映像でご覧ください。医療器具を搭載したジープを提供したことで、医療ボランティアがハイチのいたる処へ行けるようになったのです。ロータリアンとしての誇りです。

さらに、日本の姉妹都市との絆で、ブラジルの新生児を救う取り組みを紹介します。

ブラジルの Registro ロータリークラブは、岐阜県中津川の2つのロータリークラブとパートナーとなり、グローバル補助

金プロジェクトを実施しました。ロータリアンは、約1,900万円を集め、新生児の集中治療室に保育器5台を追加しました。これにより、それまでの倍近い新生児の受け入れができるようになりました。2013年には新生児129名、プロジェクト完了後も毎年、新生児約220名の命を救っています。

母子の健康というテーマで思い出すのが、私の申し訳ない体験です。私は、3人の男の子を授かった父親でしたが、育児を家内任せにして、育児放棄をする父親だったので。幼い子供を愛情込めて抱きしめたこともありませんでした。今から思えば、家内にも、子供たちにも本当に申し訳ない夫・父親だったと思います。途中から、何とか愛情が溢れるようになったことで、今、孫が7人いますが、可愛くて、可愛くて、会ういつも抱きしめています。

奉仕活動は、思いやりがあってこそ生まれる活動だと思います。ロータリアンとして、思いやりが溢れる心をさらに育てていきたいものです。

(3) ビジター紹介、バナー贈呈

秋田県 潟上(かたがみ)ロータリークラブ

小玉敦子さん

(4) 高尾ガバナーよりの地区役員委嘱状伝達

2021-22 年度

分区再編検討委員会委員 高橋 秀樹さん

分区再編検討委員会委員 山田 隆一さん

(5) 100%出席表彰

小木 将綱君	1年	佐藤 邦栄君	4年
織戸 潔君	10年	細野 義彦君	12年
佐藤 紳一君	21年		

(6) お祝い贈呈(7名)

(7) 結婚記念日お祝いの紹介(8名)

(8) ローターリーの友4月号紹介
(酒井昌彦広報会報雑誌委員長)

(9) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(佐藤 紳一委員)

石橋 正利君

青少年育成基金寄付発表

(佐藤隆夫青少年奉仕委員長)

本間 彊君 佐藤 隆夫君

(10) ニコニコボックス紹介(本多 晃委員長)

・坂本 信君 結婚記念日のお花ありがとうございます。

(11) 幹事報告(内山 博之)

・5月21日に新潟ロータリークラブのホストによる地区研修・協議会が開催されます。ご出席対象の次年度委員長と地区役員の皆様へ本日、メールにてご案内を配信致しますので、是非、ご出席・ご協力をお願い致します。

・本日の理事会におきまして、徳永昭輝地区国際奉仕委員長より依頼を頂いた「ウクライナ支援」につきまして、新潟ロータリークラブは4月19日の例会時に会員よりご寄付をお預かりすることを決定致しました。ご協力を宜しく願い致します。

(12) 4月5日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
83	81	66	81.48

Zoom参加 12名

4月12日の例会予定

観桜例会 17時30分受付 18:00開会
於 イタリア軒

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

4月5日 理事会報告 出席者11名

1 退会届について(事後報告) = 承認
・日本製鉄(株)新潟支店支店長 藤井邦之君
・東北電力(株)新潟支店支店長 藤倉勝明君
・セコム上信越(株)代表取締役社長 山中 善紀君

2 入会推薦の件 = 承認
・セコム上信越(株)代表取締役社長 福満 純幸君
(御紹介者 敦井 栄一君 高橋 秀松君)
・(株)新潟日報社 代表取締役社長 佐藤 明君
(御紹介者 佐藤 隆夫君 酒井 昌彦君)
・日本製鉄(株)新潟支店支店長 北爪 彰人君
(御紹介者 本間 彊君 小田 等君)

3 ガバナー特別会計の件 = 承認

5月21日開催の地区研修・協議会の登録料については、5,000円を自己負担とし差額はクラブで補助する。また、当初予算で賄えない可能性があるため、ガバナー特別会計より一般会計へ500,000円繰り入れることとする。

4 今後の例会開催について = 承認

新型コロナウイルス感染者は高止まりしている状況であるが、感染対策を行い、引き続き現状と同様の形で、例会を開催する。

5 4月のプログラム = 承認

4月5日 第一例会につき卓話なし

4月12日 観桜夜例会

於 イタリア軒 5:30 受付 6:00開会

4月19日 会員スピーチ

・テンプスタッフフォーラム(株)
代表取締役社長 荻部雄一君

・ダイダ(株)新潟支店
支店長 柏木春彦君

4月26日 卓話

トキエア(株) 代表取締役 長谷川政樹氏

6 その他

・ウクライナ支援・寄付活動について = 承認

国際ロータリー国際奉仕委員会からの依頼があり、4月19日の例会内において、任意で寄付を募ることとなった。

・情報研究会からの冊子の購入について = 承認

石橋会長より、入会促進のためのツールとして、「ロータリーへのお誘い」と「ロータリーの基礎」をそれぞれ50冊購入することとなり、合計で42,500円の支出となる。

・吉田社会奉仕委員長より、6月18日(土)開催のロータリー奉仕ディについて水辺環境整備として海岸清掃を行う予定であり、その際にロータリアン以外の参加者を会員数の25%募集するとの報告があった。

・佐藤青少年奉仕委員長より、地区インターアクト年次大会が、7月16日(土)にZOOMにより開催されるとの報告があった。

・石川会長エレクトより、2022~2023年度理事会を5月17日(火)にアッセンブリーを5月24日(火)に開催する予定であるとの報告があった。